

武雄市行政改革市民会議（第1回）議事録

1 日 時 平成23年2月7日（月）15:00～16:50

2 場 所 武雄市役所4階会議室

3 出席者 13人（光武委員欠席）

4 議事録

○市長あいさつ

行革ばかりでは人の気持ちは疲弊する。この5年間の行革では、職員を減らし、行政組織をスリム化、その結果として水道料金、固定資産税率の引き下げを行うことができた。また、病院の民間移譲により雇用を生み出し、税収が増えることが期待される。

2月7日付朝日新聞記事のとおり市民病院を巡る住民訴訟費用負担により事業規模の縮小を余儀なくされている。市長就任以来、基金残高の増と地方債残高の減を実現してきたが、今後も地方債を減らし、利子負担を減らす事業選択をしていく。最終的な判断は市民に委ねることにはなるが、あれもこれもではなく、無駄はやめる意見をいただきたい。

○役員選任 委員の互選により決定

【会長 吉牟田敬二】 【副会長 山口良子】

(1) 行政改革プランの改定について

- ・ プラン改定の考え方 事務局説明
- ・ 行政改革プランの実績（見込み） 事務局説明

(委員) 削減となればまずは人件費の問題。区長（行政区）の数の削減が考えられる。

(事務局) 行政区の話は市が先導するのではなく、地元で十分協議していただきたい。

(委員) 市議会議員の人数が多すぎるのでは、以前要望書をだした経過もある。

(委員) 評価、達成度はどのように行われたのか。

(事務局) 担当課から行政改革課へ提出されたものを庁内幹事会で協議し、部長会で確認している。

(委員) 目標値と実績値の比較や目標達成に向けた取り組み内容の説明がないと、プラン改定をおこなううえでの評価、意見ができない。

(委員) 先ほど基金残高と地方債残高の内訳についての説明があったが、財政面での将来予測を提示して欲しい。

(委員) 財務4表は2通りあると思うがどちらで作成、公表する予定か。

(事務局) 財務4表については、基準モデルとする。

(委員) 今回のプラン改定では7つの推進項目は変えることが前提なのかどうか。

(事務局) 基本方針は踏襲しながら、7つの推進項目については再度整理を行いたい。

- (会長) 実績を評価することでいいものは残し、新規にあげるものあるということですね。
- (委員) 男女参画率の目標達成はしていないが、現場の状況からいえば良いと評価できるのでは。
- (委員) 女性自身にも意識の面で問題もあるが、言われたら引き受けようという姿勢はある。
- (委員) 参加したら意見するために学習し、情報共有を呼びかけている。
- (委員) 家庭での夫の意識改革が前提だが、何もかも女性がでるのも難しく、役割分担が必要。

(2) 武雄市の現状について

- ・ 行政組織 事務局説明
- ・ 財政状況 事務局説明

- (委員) こども手当は増額となるようだが、今後の市の負担、影響はどうなるのか。
- (事務局) 新たに市が負担することはないと思われる。
- (委員) 今回改定するプランの計画期間は平成23年度から27年度までであり、合併による交付税措置が減じるなど大きな影響はないようだが、28年度以降を考えれば、基金をあらかじめ積み立てておくなど考慮すべきでは。
- (委員) レモングラス課やいのしし課を設置した後の新規事業の収支はどうなっているのか。
- (事務局) 民間の事業なので収支については把握していないが、PR効果や新たな特選品としての経済効果はあると思われる。
- (委員) いのしし課についてはいのしし柵の設置などで安心安全なまちづくりに貢献している。数値で示して判断するのは難しいだろう。

(3) 意見交換

- (委員) みんなのバスは、民生委員や介護士など現場の声を含めて方向性を再検討する余地がある。
- (委員) 当会議ではプランの方向性を決めるのか、項目ごとの審議をするのか。今後どのようなスケジュールで開催するのか。
- (事務局) 2、3月に今後2回開催予定。次回は素案を提案したい。
- (委員) 資料配布は事前にされているので、説明は簡潔でいいので議論を活発にしたい。